

R5 年度 さいたま子どもエコ検定 問題・解答

さいたま子どもエコ検定の内容

- ◆Q1～Q2・・・・・・・・・・エネルギー
- ◆Q3～Q6・・・・・・・・・・資源・ごみ
- ◆Q7～Q9・・・・・・・・・・生きもの
- ◆Q10～Q12・・・・・・・・・・大気・水
- ◆Q13～Q15・・・・・・・・・・環境全般（SDGs に関することなど）

<エネルギー>



イラストのパネルは自然にあるものを利用して、「電気」をつくります。
あるものとは、次のうちどれでしょうか。

- ① 風
- ② 太陽
- ③ 石炭(せきたん)



【解説】 正解は②

ソーラーパネルに太陽の光があたって、集まった光を使って電気をつくる方法のことを「太陽光発電(たいようこうはつでん)」といいます。また、風がふくことで、風車がまわり、そのときのエネルギーを使って電気をつくる方法のことを「風力発電(ふうりよくはつでん)」といいます。

太陽の光や風などの、自然(しぜん)の力を利用してつくるエネルギーのことを、再生可能(さいせいかのう)エネルギーといいます。この再生可能エネルギーは、つくられるときに、地球温暖化のもととなる二酸化炭素(にさんかたんそ)を発生させません。

石油や石炭(せきたん)をもやすことで電気をつくる方法を「火力発電(かりよくはつでん)」といいます。しかし、石油や石炭は量(りょう)にかぎりがあり、またこの「火力発電」は、二酸化炭素を発生させてしまいます。

みぬま見聞館(けんぶんかん)には、さいがいの時に活用できる電気をつくる「マイクロ風車発電機(はつでんき)」があります。そこでは、電気がどれほどつくりだされたかをかくにんすることができます。

さいたま市のホームページからも見るすることができます。↓こちらをクリック↓

[さいたま市／マイクロ風車発電機で再生可能エネルギーについて学ぼう \(city.saitama.jp\)](http://city.saitama.jp)

↓みぬま見聞館の場所を知りたいときは、こちらをクリック↓

みぬま見聞館【マップ】<https://goo.gl/maps/sYvMBb2HsgrzhpFc9>

じっさいに再生可能(さいせいかのう)エネルギーを見に行ってみましょう!

【参照:環境省「再エネスタート」、さいたま市「マイクロ風車発電機で再生可能エネルギーについて学ぼう」】



燃料(ねんりょう)電池自動車は、走るとき、地球温だん化のもととなる二酸化炭素(にさんかたんそ)を出さない環境(かんきょう)にやさしい自動車です。燃料電池自動車について、次のうち正しいものはどれでしょうか。

- ① ガソリンを燃料として使う自動車
- ② ロボットに変形する自動車
- ③ 走るときに水しか出さない自動車



【解説】正解は③

燃料(ねんりょう)電池自動車は、水素と酸素(さんそ)を化学反応させて電気をつくり、つくいだした電気でモーターを回転させることで走る車です。走るときに二酸化炭素(にさんかたんそ)を出さずに、電気をつくるときに発生する水しか出さないため、とても環境(かんきょう)にやさしい自動車です。

また、燃料電池自動車は、ガソリン車とくらべて、動かすときに出る音が少ないため、乗り心地がよいのはもちろん、都市全体のうるさい音をへらす効果(こうか)も期待されています。

さいたま市では、ガソリンを使わない電気自動車や燃料電池自動車といった環境にやさしい「エコカー」を広めるための活動をしています。

<資源（しげん）・ごみ>



わたしたちの生活から出たプラスチックやビニールなどが雨で流されたり風でとばされたりして川にはいると、海にながれます。それらを海でくらす生きものたちが食べてしまい、苦しんでしまうことがあります。

イラストのように、太陽の紫外線（しがいせん）などのえいきょうを受け、細かくなりかいしゅうするのがむずかしくなってしまったプラスチックなどのことを何と一言うのでしょうか。

- ① サイクルプラスチック
- ② マイクロプラスチック
- ③ ドクロプラスチック



【解説】正解は②

ポイ捨てされたペットボトルやレジぶくろなどが川に入ると、さいごは海に流れこんでしまいます。プラスチックは、自然の中で分かいかされず、太陽の光にふくまれる紫外線（しがいせん）や波の力でれっ化し、小さな破片（はへん）になっていきます。5mm以下の小さなプラスチック片（へん）を「マイクロプラスチック」といいます。

マイクロプラスチックは、海の生きものがエサとまちがえて食べ、死んでしまうなど、生態系（せいたいけい）にも悪いえいきょうをあたえます。このままだと、2050年までに、海の中にたまるプラスチックごみの重さは、魚の重さをこえると言われていています。わたしたちは、プラスチックごみを分別（ぶんべつ）して正しくするなど、できることから取り組んでいくべきです。

埼玉県の川で見つかったごみのうち、70 パーセント以上がプラスチックごみでした。のこりの30パーセントは「空きカン・ビン」「可燃（かねん）ごみ」「不燃（ふねん）ごみ」です。

さいきんでは市内の川でもマイクロプラスチックが見つかっています。

プラスチック問題についてさらにくわしく知りたいときは、

↓こちらをクリック↓

[leaflet_umigomi.pdf \(saitama.lg.jp\)](#)

【参照：埼玉県環境部水環境課「プラスチックを流さない」】



わたしたちができるごみをへらす工夫として

- ・リデュース…ごみをへらす
- ・リユース…くりかえし使う
- ・リサイクル…ふたたびしげんにする

がありますが、3つをまとめてなんというのでしょうか。



- ① 3A (スリー・エー)
- ② 3R (スリー・アール)
- ③ 3Y (スリー・ワイ)

【解説】正解は②

リデュース(Reduce)はたとえば

- ・ごみをへらすために食べものをのこさない
- ・レジぶくろをもらわないように、マイバックを持っていく

リユース(Reuse)はたとえば

- ・使わなくなったものは人にゆずる
- ・こわれたものはなおして使う
- ・つめかえを買って、容器をくりかえし使う

(※空いた容器に、指定された商品とはちがう商品をつめかえるとあぶないことがありますので、指定された商品をつめかえるようにしましょう！)

リサイクル(Recycle)はたとえば

- ・リサイクルボックスを利用する
- ・分別(ぶんべつ)ルールを守って正しくすることで、もう一度新しいものに生まれ変わるなどがあります

分別ルールがわからないときは、ごみ分別アプリ(さいちゃんアプリ)から調べることができます。

ダウンロード方法については↓こちらをクリック↓

[さいたま市／さいたま市ごみ分別アプリ \(さいちゃんアプリ\) をご利用ください！](#)

city.saitama.jp

これらのごみをへらす3つの工夫をまとめて、3R(スリー・アール)といいます。

3R(スリー・アール)の中で、もっとも大切なのは、ごみを少なくするリデュースです。なぜなら、新しいものを作るまでにたくさんのお金やエネルギーがかかってしまうからです。

どうしても出てしまったごみは、できるだけリサイクルにまわしましょう。

自動はん売機の横には、ビン・カン・ペットボトルの「リサイクルボックス」がよくおいてあります。リサイク

ルボックスの中に、ビン・カン・ペットボトルではないものがまざってしまうと、リサイクルがうまくいかなくなってしまいますので、お弁当のよう器や紙くず、家庭から出たごみなどをすてないようにしてください。

まずは、ごみを出さないように気をつけ、使えるものはくりかえし使い、どうしてもごみになってしまうときは、きちんと分別してふたたびしげんにします。

買いものをするときは、本当にひつような分だけ買うようにしましょう！

これならかんたんにごみをへらせそうですね。

【参照：プラスチックを流さない 埼玉県環境部水環境課】

さいたま市「自動販売機横のリサイクルボックスにごみを捨てないでください」



写真のお道具箱は、みなさんが使いおわったあるものをリサイクルして作られました。

何をもとに作られたでしょうか？

- ① 牛にゆうパック
- ② ペットボトル
- ③ 使わなくなったスマートフォン



【解説】正解は①

さいたま市の小学校では、集めた牛にゆうパックをお道具箱として生まれ変わらせ、それらを児童のみなさんに使ってもらっています。

また、学校でかいしゅうされるペットボトルのふたは、リサイクルされて、植物を植えるプランターや CD ケースなどになります。

そのほかにも、ダンボール、新聞紙、雑誌(ざっし)など、リサイクルできるごみはたくさんあります。

【参照：令和4年度さいたま市環境白書 p129、令和3年度版さくらそうp33、35】



給食(きゅうしょく)の食べのこしなど、まだ食べられるのにすてられてしまう食べもののことを「食品〇〇」といいます。

〇〇に入るのは、次のうちどれでしょう。

- ① ロス
- ② ナス
- ③ トス



【解説】正解は①

日本で、食べられるのにすてられてしまう食べもの「食品ロス」の量(りょう)は、年間522万トン(令和2年度数値)です。これは、1人あたり毎日おにぎり1個をすてていることになります。

みなさんは学校の給食(きゅうしょく)をのこさず食べていますか？

毎日給食はどのくらいのこっているのか、

給食のメニューを考えてくれている学校の栄養士(えいようし)さんは、給食がのこらないようにするために、どんな工夫をしているのか、

給食をのこさないようにするために、私たちはどのような工夫ができるのか、

などについて、この問題をきっかけにいっしょに考えてみましょう！

食品ロスをへらすために、わたしたちができることは、たとえば

- ・給食では、食べきれぬ量をもりつけ、のこさないようにする
 - ・食べものを多く買すぎないようにする
 - ・すぐに食べるものを買うときは、商品がおいてあるたなの手前のものからとる「てまえどり」をする
- などがあります。

どうしても食べものを食べることができなかつたときは、「フードドライブ」を利用してみましょう。

フードドライブとは、家庭であまっている食品を集めて、食べものにこまっている人たちにきふする活動のことをいいます。わたしたちがフードドライブできふした食品は、フードバンク団体などが間にはいつて、食べものにこまっている人たちのもとへとどけられます。

さいたま市内には 30 か所のフードドライブがあるので、食べものをすててしまうまえにお近くのフードドライブにもって行ってみませんか？

お近くのフードドライブの場所を調べたいときは↓こちらをクリック↓

[さいたま市／余った食品みんなでシェア！フードドライブに参加しましょう \(city.saitama.jp\)](http://city.saitama.jp)

また、さいたま市では、日曜日はあまった食材でスープをつくる「食べつくスープ」を、食品ロスをへらすための方法としておすすめしています。

家族といっしょに、日曜日はスープを食べてみるのはいかがでしょうか。

くわしく知りたいときは↓こちらをクリック↓

[さいたま市／Saitama Sunday Soup\(日曜日は食べつくスープ！\)](http://city.saitama.jp) (city.saitama.jp)

食品ロスは「もったいない！」だけではありません。

食品ロスをごみとしてもやすとき、二酸化炭素(にさんかたんそ)が出てしまい、その結果、地球温暖化を進めてしまいます。

食品ロスをへらすためにできることをいっしょに考えていきましょう！

【参照:さいたま市食品ロス削減全国大会 クイズ大会にて出題された問題より抜粋】

環境省「食品ロスを減らすためにわたしたちにできること」p2

<生きもの>



さいたま市内には、さまざまな野生生物がすむことができるように、環境(かんきょう)を再生した「ビオトープ」があります。

「ビオトープ」はドイツ語で「〇〇」を意味する「ビオ」と、「場所」を意味する「トープ」とを合わせた言葉ですが、〇〇に入る言葉は次のうちどれでしょうか？

- ① 生きもの
- ② 建てもの
- ③ 食べもの



桜環境センターのビオトープ「シーオ(SEEO)」

【解説】正解は①

環境(かんきょう)問題は、日本だけではなく、「ビオトープ」という言葉や取り組みの始まりの地であるドイツや、そのほか多くの国がいっしょに考えていかなければならない問題です。海外で行っている地球にやさしい取り組みについて調べてみたら、楽しい気づきがあるかもしれません。

さいたま市内の主なビオトープは次のとおりです。

- ・ 桜環境センター【マップ】<https://goo.gl/maps/RSfzv4Gcv4WuUgbdA>
- ・ 合併記念見沼公園 【マップ】<https://goo.gl/maps/SnhoNSEDP8mxk3jKA>
- ・ みぬま見聞館(けんぶんかん)【マップ】<https://goo.gl/maps/sYvMBb2HsgrzhpFc9>
- ・ 七里総合公園【マップ】<https://goo.gl/maps/LMstey1Bdo63UD3s8>
- ・ 大宮花の丘農林公苑【マップ】<https://goo.gl/maps/4CL5pq2gcyjrkDP8>
- ・ 鴨川第一調整池ウェットランド【マップ】<https://goo.gl/maps/zeyokMrDSFTzokZV8>
- ・ 彩湖公園【マップ】<https://goo.gl/maps/dymPLYQrNUa55xeX8>
- ・ 見沼自然公園【マップ】<https://goo.gl/maps/79aiW1oSzySC2GtP8>

さいたま市では、都市化されたまちなみに、ビルの屋上を緑化したり、緑のカーテンをふやすことなどにより、みなさんが身近にみどりを感じられるよう取り組みを進めています。その一つが、「ビオトープ」です。さいたま市内のいくつかの公園や小・中学校では、元々あるビオトープを守ったり、新しくビオトープをつくったりしています。みぬま見聞館や桜環境センターでは、ビオトープで自然を感じるとともに、エコな取り組みを学ぶイベントなども行っていますので、ぜひたいけんしてみましょう！

【参照：みぬまp35、令和4年度さいたま市環境白書p130】



地球上のさまざまなところに、動物、植物、小さな虫など、さまざまな種類(しゅるい)の生きものがいて、ふくざつにかかわりあって生きています。このことを何と言うでしょうか。

- ① 生物多様性(せいぶつたようせい)
- ② 生きもの王国
- ③ 生きものがかり



【解説】正解は①

今、地球上にいる生きものは、1,000万種とも3,000万種とも言われています。これらの生きものたちは、森や川、草原、湿地(しっち)、海などさまざまなところで、おたがいにバランスをたもって生きています。

たくさん種類(しゅるい)の生きものすべてが、ふくざつにかかわりあって生きていることを「生物多様性(せいぶつたようせい)」とよび、わたしたちのくらしやちいきづくりにたくさんめぐみをあたえてくれます。

しかし、今、ぜつめつしてしまいそうな生きものがたくさんいます。ぜつめつのおそれがある動物や植物については、「レッドデータブック」という本にまとめられています。

埼玉県内のぜつめつのおそれがある動物や植物を知りたいときは↓こちらをクリック↓

- ・ [埼玉県レッドデータブック動物編 2018 - 埼玉県 \(saitama.lg.jp\)](http://saitama.lg.jp)
- ・ [埼玉県レッドデータブック 2011 植物編 - 埼玉県 \(saitama.lg.jp\)](http://saitama.lg.jp)

生物多様性を守るため、まずは身近な環境(かんきょう)にきょうみを持ち、みなさんの家や学校のまわりなどにはどんな生きものがあるのかかんさつしてみましょう。

さいたま市内には自然の環境をいかしてつくられた公園がたくさんあり、さまざまな生きものがあります。

生きもののかんさつすることができる場所を知りたいときは

↓こちらをクリック↓

[さいたま市／さいたま市内の生きもの \(city.saitama.jp\)](http://city.saitama.jp)

【参照:みぬま p29、30】



さいたま市の花として指定されている「サクラソウ」はこれらの写真のうち、どれでしょうか？



①



②



③

【解説】正解は①

② は「やまぶき」で、いわつき区の花です。

③ は「バラ」で、中央区の花です。

さくら区の田島ヶ原(たじまがはら)は、「サクラソウ」が自然に生えている土地として国の特別天然記念物(とくべつてんねんきねんぶつ)に指定されています。さいたま市では、大切なサクラソウをこれからもずっとのこしていくために、外からやってきてサクラソウをからしてしまう植物を取る努力(どりよく)などを行っています。田島ヶ原のサクラソウは、3月のおわりからさき始め、4月のはじめからなかばにかけて楽しむことができます。

さいたま市の花のほかにも、さいたま市内の10区それぞれに、区の花が決められています。

自分が住んでいる区の花を調べたいときは、↓こちらをクリック↓

[さいたま市／10区の「区の花」を紹介します \(city.saitama.jp\)](http://city.saitama.jp)

みなさんが住んでいる区の花を知って、まわりにさいているかぜひさがしてみてくださいね。

【参照;さいたま市ホームページ】

<大気・水>



調理するときに使った油の後かたづけの方法として、正しいのは次のうちどれでしょうか？

- ① 油を台所に流す
- ② 油を紙ですい取り、もえるごみにする
- ③ 油を近くの川に流す



【解説】正解は②

みなさんは油がどれくらい水をよごすのか考えたことはありますか？天ぷら油(500ml)を川や海に流したときに、魚がすめるようになるためにひつような水は、お風呂 560 ばいです。

ほかにも、牛にゆうコップ1ばい(180ml)はお風呂11ばい、みそしる 1 ばい(200ml)はお風呂 5 ばいのきれいな水がひつようになります。

さいたま市下水処理(げすいしより)センターでは、よごれた水を 12 時間かけてきれいし、芝川(しばかわ)に流しています。このことを「下水処理」といいます。「下水処理をしてくれるなら、油などをそのまま台所に流しても、問題ないのでは？」と思ったひともいるかもしれませんが、そのように考えるのは、地球にやさしいとは言えません。

下水処理をするときには、エネルギーがひつようですが、そのエネルギーがふえればふえるほど、地球温だん化を進めてしまいます。

台所に油や生ごみをそのまま流してしまうと、それらを下水処理するのに、より多くのエネルギーがひつようになってしまうのです。

- ・食べもの・飲みものはのこさない
- ・天ぷら油は、紙ですい取り、もえるゴミにする
- ・お米のとぎ汁を植物にあげる

これらの工夫をして、下水処理をするときにかかるエネルギーをへらしていくことが大切です。

【参照：令和3年度版 目指せ！環境はかせ さくらそう p27～28】



地球温暖化は二酸化炭素(にさんかたんそ)がふえることによって、進んでしまいます。

地球温暖化によって起きることとして、**あてはまらないもの**は次のうちどれでしょうか。

- ① かつてないあつさや大雨、台風がふえる。
- ② 砂漠(さばく)の面積(めんせき)が小さくなる。
- ③ 海面(かいめん)が上がり、しずんでしまう島がある。



【解説】正解は②

地球温暖化が進むと、次のような問題がおきてしまいます。

- ・かつてない大雨や台風がくる回数がふえていく
- ・あつさによって、熱中症(ねっちゅうしょう)にかかるきけんが高まる

地球温暖化は、わたしたちのくらしの中で出している二酸化炭素(にさんかたんそ)がふえていくと、ますますひどくなっていきます。

地球温暖化についてさらに詳しく知りたいときは、↓こちらをクリック↓

「地球が今たいへんだ！地球温暖化ガイドブック」 [chikyu.pdf \(city.saitama.jp\)](https://www.city.saitama.jp/chikyu.pdf)

どうしたら、二酸化炭素をへらしていけるのか、いっしょに考えていきましょう！

たとえば、わたしたちにできることとして、

- ・自転車や歩きといった二酸化炭素を出さない移動(いどう)をする
- ・テレビの時間を決めて使う、テレビを見ていない時は消す
- ・冷蔵庫の開けしめの回数をへらす

などがあります。

【参照：脱炭素社会推進課「地球温暖化ってなんだろう？」パンフレット
環境省「おしえて！地球温暖化」p2, 3、「みんなで節電アクション！特設サイト】

くかんきょう全般（SDGs に関することなど）



木々を大切にすることは、地球温暖化のたいさくにもつながります。
それはなぜでしょう。

- ① 二酸化炭素(にさんかたんそ)をきゆうしゆうしてくれるから
- ② 電気をつくってくれるから
- ③ プラスチックをぶんかいしてくれるから



【解説】正解は①

植物は光合成により、地球温暖化のもととなる二酸化炭素(にさんかたんそ)をきゆうしゆうして、酸素(さんそ)にしてくれます。

人間 1 人が、息をすったりはいたりすることで出る二酸化炭素をきゆうしゆうするために、ひつようなスギの木はなんと 23 本です！

車1台だと、人間の約7倍の 160 本です！！！！

そのため、森林がへってしまっているのも、地球温暖化が進んでしまう理由の一つです。

わたしたちが生活の中で、出している二酸化炭素をきゆうしゆうしてくれる木々を大切に守っていくことは、地球温暖化のたいさくになります。

まちなかの木々にきょうみを持ったり、おうちの庭に花や木を植えたりすることで、緑にふれてみてはいかがでしょうか？

【参照：環境省パンフレット「森林と生きる」 p4

リンク先はこちら→[forest_pamph_2016.pdf \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/forest_pamph_2016.pdf)】



「さいたま打ち水大作戦」でたいけんすることができる「打ち水」は、夏をすずしくすごすために、日本で昔からある工夫の一つです。「打ち水」とはなにをすることでしょうか。

- ① 水を飲む
- ② 水をあびる
- ③ 水をまく



さいたま打ち水大作戦 2021 の様子

【解説】正解は③

打ち水は、まいた水がまわりを冷やすことで、すずしい風がふき、すずしさを感じることができます。昔からある工夫をいかして、エアコンの使用をへらし、節電(せつでん)につなげてみてはいかがでしょうか？地球温暖化によりますますひどくなるあつさになれていくために、わたしたちができることは、打ち水のほかに

- ・ぼうしをかぶる
- ・日がさをさす
- ・こまめに水分をとる
- ・ゴーヤ、西洋アサガオなどのツル性の植物で作る自然のカーテン(緑のカーテン)をつくるなどがあげられます。

緑のカーテンは、夏の強い日ざしをやわらげ、部屋の温度が上がるのをおさえることができます。また、実がなる植物をえらべば、食べる楽しみもあります。

「緑のカーテンのスタートブック」では、緑のカーテンをどのように育てるかについてのとっています。

ダウンロードは↓こちらをクリック↓

https://www.city.saitama.jp/001/010/019/006/001/p071925_d/fil/bookH3003.pdf

さまざまな工夫をして、いっしょにあつさを乗りきりましょう！

【参照：埼玉県「九都県市は暑さ対策を推進します。」、さいたま市「緑のカーテンスタートブック」】



写真はさいたま市でとれたお米、くわい、こまつなを使った給食(きゅうしょく)です。

このように、その土地でとれた農作物を、その土地に住む人たちが食べるのは、「環境(かんきょう)」「農家さんなどの生産者(せいさんしゃ)」「わたしたち消費者(しょうひしゃ)」「わたしたちがくらすちいき」これらみんなにいいことがあります。

このことを「〇産〇消」といいますが、〇にあてはまるのは、次のうちどれでしょうか。

- ① 外
- ② 地
- ③ 内



【解説】正解は②

地産地消は「ちさんちしょう」と読みます。地元の農産物を買うことは、運ぶきよりが短くすむため、車から出る二酸化炭素(にさんかたんそ)をへらすことができます。

そのほかにも、地元の生産者が作った農作物を買うことにより

- ・しんせんな食べものが味わえる
 - ・地元のやさい・くだものなどの生産(せいさん)がさかんになる
 - ・農地があることで、ヒートアイランド現象(げんしょう)をおさえることができる
- などの良い点があります。

(※ヒートアイランド現象・・・都市部において、緑地が少なくなり、地面が熱をためやすいアスファルトやコンクリートにおおわれていることなどによって、へいきん気温が高くなること。)

ヒートアイランド現象についてくわしく知りたいときは↓こちらをクリック↓

[暑さ対策\(ヒートアイランド対策\) - 埼玉県 \(saitama.lg.jp\)](http://saitama.lg.jp)

家族といっしょにお買い物に行くときに、地元の農家さんたちが作ってくれたやさいやくだものなどをえらんでみませんか？

【参照：農林水産省「いいこといっぱい地産地消」チラシ】



未来のわたしたちが、この地球でくらしつづけることができるように、世界のみんで決めた目標(もくひょう)のことをSDGs(エス・ディー・ジーズ)といいます。SDGsは日本語で何という意味でしょうか。(★ヒント・・・さいしょの漢字4文字は、「何かをしつづけることができる」ということです。)

- ① 十人十色(じゅうにんという)な開発目標
- ② 持続可能(じぞくかのう)な開発目標
- ③ 一心同体(いっしんどうたい)な開発目標



【解説】正解は②

持続可能(じぞくかのう)な社会とは、健全(けんぜん)でゆたかな環境(かんきょう)が、地球レベルから身近なちいさまでにわたって守られるとともに、それらを通じて国民一人一人が幸せを実感できる生活をおくることができ、未来の世代にもつなげることができる社会です。

持続可能な開発目標(かいはつもくひょう)＝SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、そんな持続可能な社会をめざすために作られた目標17個のことをいいます。

環境にかんすることだけではなく、「男女平等」や「ひんこん問題(まずしくて生活にこまっている人がいること)」「教育問題(教育がうけられない子どもたちがいる、など)」といった、今、わたしたちの世界が直面しているいろいろな問題をかいけつすることをめざしています。

Q1 の再生可能(さいせいかのう)エネルギーは目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」があてはまります。

Q3 の海にすてられたごみの問題は目標12「つくるせきにん、つかうせきにん」、目標14「海のゆたかさを守ろう」にあてはまります。

Q6 の食品ロス問題は目標2「きがをゼロに」、目標12「つくるせきにん、つかうせきにん」にあてはまります。

持続可能な社会のために、わたしたちに何ができるか、家族や学校などでまわりの人たちと話し合ってみてくださいね。

[SDGsとは? | JAPAN SDGs Action Platform | 外務省 \(mofa.go.jp\)](https://www.mofa.go.jp/jp/ir/ica/2016/sdgs/)

【参照:前年度のエコ検定 Q15 解説、環境省「第3次環境基本計画」より】